

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場会社名 協和発酵キリン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4151 URL <http://www.kyowa-kirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花井 陳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 坂本 二郎 TEL 03-5205-7206
コーポレートコミュニケーション部長

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 平成29年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	175,685	0.9	24,127	57.3	22,044	61.1	13,670	27.0
28年12月期第2四半期	174,056	△2.7	15,334	△31.8	13,681	△31.9	10,763	13.0

（注）包括利益 29年12月期第2四半期 14,763百万円（－％） 28年12月期第2四半期 △13,051百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	24.98	24.95
28年12月期第2四半期	19.67	19.65

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	697,488	608,769	87.2
28年12月期	697,167	600,745	86.1

（参考）自己資本 29年12月期第2四半期 608,200百万円 28年12月期 600,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	12.50	—	12.50	25.00
29年12月期	—	12.50	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	347,000	1.2	39,000	23.3	35,000	32.6	21,000	12.5	38.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	576,483,555株	28年12月期	576,483,555株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	29,172,664株	28年12月期	29,261,490株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	547,273,428株	28年12月期2Q	547,225,777株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日から6月30日までの6か月間）の売上高は1,756億円（前年同期比0.9%増）、営業利益は241億円（同57.3%増）、経常利益は220億円（同61.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は136億円（同27.0%増）となりました。なお、2016-2020年中期経営計画の経営目標に掲げるコア営業利益（営業利益+のれん償却額+持分法投資損益）は279億円（同41.2%増）となりました。

◎ 売上高及び営業利益は、技術収入の増加や研究開発費の減少等により増収増益となりました。

◎ 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医薬事業

① 業績

医薬事業の売上高は、1,357億円（前年同期比2.6%増）となり、営業利益は207億円（同77.7%増）となりました。

◎ 日本の売上高は、医療費抑制策に伴う後発医薬品の浸透や昨年4月に実施された薬価基準引下げの影響等を受け前年同期を下回りました。

- ・主力製品の腎性貧血治療剤「ネスプ」は、薬価基準引下げの影響等により前年同期の売上高を下回りました。
- ・抗アレルギー剤「アレロック」、高血圧症・狭心症治療剤「コニール」、抗てんかん剤「デパケン」、好中球減少症治療剤「グラン」等の長期収載品は、後発医薬品の浸透等の影響を受けて売上高が減少しました。
- ・発熱性好中球減少症発症抑制剤「ジーラスタ」、パーキンソン病治療剤「ノウリアスト」、2型糖尿病治療剤「オングリザ」等は、堅調に売上高を伸ばしました。

◎ 海外の売上高は、技術収入の増加等により前年同期を上回りました。

- ・欧州及び米州では、癌疼痛治療剤「Abstral」及び「PecFent」やオピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」等が伸長したほか、アストラゼネカ社からのベンラリズムマブに関する契約一時金・マイルストーン収入等により売上高は前年同期を上回りました。
- ・アジアでは、台湾や韓国を中心に堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

② 研究開発

当社では、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第2四半期連結累計期間における主な後期開発品の開発状況は次のとおりであります。

腎カテゴリー

- ・日本においてカルシウム受容体作動薬KHK7580の維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症を効能・効果とする承認申請を4月に行いました。
- ・日本においてRTA402の2型糖尿病を合併する慢性腎臓病を対象とした第Ⅱ相臨床試験を実施中です。
- ・中国において持続型赤血球造血刺激因子製剤KRN321（日本製品名「ネスプ」）の透析施行中の腎性貧血を効能・効果とする承認再申請の準備中です。

がんカテゴリー

- ・日本においてc-Met阻害剤ARQ197のソラフェニブ治療歴を有するc-Met高発現の切除不能肝細胞癌を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。
- ・抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）は、米国及び欧州等において血液がんを効能・効果とする承認申請の準備中です。

免疫・アレルギーカテゴリー

- ・抗IL-5受容体ヒト化抗体KHK4563は、日本において気管支喘息を適応症とした承認申請を、本剤の権利の導出先であるアストラゼネカ社が2月に行いました。また、同社が実施している国際共同試験計画の一環として、気管支喘息を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国において、慢性閉塞性肺疾患を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本において、それぞれ実施中です。
- ・抗IL-17受容体A完全ヒト抗体KHK4827（日本製品名「ルミセフ」）は、体軸性脊椎関節炎を対象とした第Ⅲ相臨床試験を日本及び韓国等において4月に開始しました。また、乾癬を対象とした第Ⅲ相臨床試験を韓国において実施中です。
- ・日本においてゼリア新薬工業(株)との共同開発である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」の用法・用量追加の承認を5月に取得しました。

中枢神経カテゴリー

- ・アデノシンA_{2A}受容体拮抗剤KW-6002（日本製品名「ノウリアスト」）の米国におけるパーキンソン病を対象とした再申請の可能性について検討中です。
- ・日本において抗CCR4ヒト化抗体KW-0761（日本製品名「ポテリジオ」）のHTLV-1関連脊髄症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を6月に開始しました。

その他

- ・抗線維芽細胞増殖因子23完全ヒト抗体KR N23は、欧州においてX染色体遺伝性低リン血症を適応症とした承認を申請中です（平成28年12月申請受理）。また、成人X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、日本及び韓国において、小児X染色体遺伝性低リン血症を対象とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を北米、欧州、オーストラリア、日本及び韓国において、それぞれ実施中です。さらに、腫瘍性骨軟化症又は表皮母斑症候群を対象とした第Ⅱ相臨床試験を米国、日本及び韓国において実施中です。
- ・中国においてトロンボポエチン受容体作動薬AMG 531（日本製品名「ロミプレート」）の慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病を対象とした第Ⅲ相臨床試験を実施中です。また、日本及び韓国において再生不良性貧血を対象とした第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験を実施中です。

バイオケミカル事業

バイオケミカル事業の売上高は、417億円（前年同期比3.3%減）となり、営業利益は33億円（同5.0%減）となりました。

- ◎ 日本の売上高は、前年同期並みとなりました。
 - ・医薬・健食用原料は堅調に推移し、前年同期を上回りました。
 - ・通信販売事業は、昨年発売の「アルギニンEX」が伸長しました。
- ◎ 海外の売上高は、前年同期を下回りました。
 - ・米州では、サプリメント向け原料の集中出荷があった前年同期を下回りました。
 - ・欧州では、為替影響を除くと前年同期並みとなりました。
 - ・アジアでは、一部製品の競争激化による影響で前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

- ◎ 総資産は、前連結会計年度末に比べ3億円増加し、6,974億円となりました。
 - ・流動資産は、受取手形及び売掛金等の減少がありましたが、資金運用としての親会社への短期貸付金の増加等により、前連結会計年度末に比べ129億円増加し、3,393億円となりました。
 - ・固定資産は、償却によるのれん及び販売権の減少等により、前連結会計年度末に比べ125億円減少し、3,581億円となりました。
- ◎ 負債は、未払金等の減少により、前連結会計年度末に比べ77億円減少し、887億円となりました。
- ◎ 純資産は、配当金の支払いによる減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ80億円増加し、6,087億円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント上昇し、87.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

- ◎ 当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末の130億円に比べて27億円増加し、158億円となりました。
- 当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、311億円の収入（前年同期比16.0%増）となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益226億円、減価償却費107億円、のれん償却額62億円等であります。一方、主な支出要因は、法人税等の支払額87億円等であります。
 - ・投資活動によるキャッシュ・フローは、223億円の支出（前年同期比11.6%増）となりました。主な支出要因は、短期貸付金の純増加額133億円、有形固定資産の取得による支出80億円、投資有価証券の取得による支出20億円等であります。
 - ・財務活動によるキャッシュ・フローは、68億円の支出（前年同期比4.5%減）となりました。主な支出要因は、配当金の支払額68億円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの連結業績は、医薬事業の売上高が当初計画を上回る水準で順調に推移しており、加えて研究開発費の減少等も見込まれることから、連結業績予想を修正いたしました。

平成29年1月31日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	344,000	35,000	30,000	19,000	34 72
今回修正予想 (B)	347,000	39,000	35,000	21,000	38 37
増減額 (B - A)	3,000	4,000	5,000	2,000	—
増減率 (%)	0.9	11.4	16.7	10.5	—
前期実績	343,019	31,638	26,397	18,669	34 12

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,066	15,825
受取手形及び売掛金	100,999	98,754
商品及び製品	51,349	50,811
仕掛品	12,934	13,303
原材料及び貯蔵品	11,945	11,642
繰延税金資産	10,824	10,999
短期貸付金	114,866	128,197
未収入金	5,900	5,148
その他	4,848	4,985
貸倒引当金	△265	△282
流動資産合計	326,469	339,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	141,432	141,405
減価償却累計額	△89,967	△91,139
建物及び構築物（純額）	51,464	50,265
機械装置及び運搬具	162,747	167,191
減価償却累計額	△133,539	△135,615
機械装置及び運搬具（純額）	29,207	31,575
土地	45,685	44,445
建設仮勘定	15,339	12,034
その他	49,935	50,232
減価償却累計額	△40,585	△40,335
その他（純額）	9,350	9,896
有形固定資産合計	151,047	148,218
無形固定資産		
のれん	134,910	129,230
販売権	49,402	45,123
その他	708	784
無形固定資産合計	185,021	175,138
投資その他の資産		
投資有価証券	11,412	11,001
退職給付に係る資産	6,563	7,231
繰延税金資産	11,496	11,248
その他	5,257	5,364
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	34,629	34,745
固定資産合計	370,698	358,102
資産合計	697,167	697,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,230	17,861
短期借入金	5,360	5,511
未払金	37,608	29,154
未払法人税等	8,183	8,689
売上割戻引当金	1,677	2,097
ポイント引当金	249	260
賞与引当金	422	464
その他	7,684	7,732
流動負債合計	79,416	71,772
固定負債		
繰延税金負債	9,144	8,988
退職給付に係る負債	2,358	2,045
工場再編損失引当金	2,988	2,988
資産除去債務	502	480
その他	2,012	2,443
固定負債合計	17,006	16,946
負債合計	96,422	88,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	509,128	509,145
利益剰余金	90,986	97,816
自己株式	△26,889	△26,812
株主資本合計	599,970	606,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,037	2,547
為替換算調整勘定	2,385	2,568
退職給付に係る調整累計額	△4,210	△3,809
その他の包括利益累計額合計	212	1,305
新株予約権	562	568
純資産合計	600,745	608,769
負債純資産合計	697,167	697,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	174,056	175,685
売上原価	70,231	66,512
売上総利益	103,824	109,173
販売費及び一般管理費		
研究開発費	27,273	24,619
のれん償却額	6,490	6,231
その他	54,726	54,195
販売費及び一般管理費合計	88,490	85,046
営業利益	15,334	24,127
営業外収益		
受取利息	249	227
受取配当金	213	91
デリバティブ評価益	1,866	—
その他	405	736
営業外収益合計	2,733	1,055
営業外費用		
支払利息	22	25
為替差損	1,780	39
デリバティブ評価損	—	225
持分法による投資損失	2,063	2,446
固定資産処分損	309	164
その他	210	236
営業外費用合計	4,386	3,138
経常利益	13,681	22,044
特別利益		
固定資産売却益	2,901	603
債務免除益	1,334	—
投資有価証券売却益	256	—
特別利益合計	4,491	603
税金等調整前四半期純利益	18,172	22,647
法人税等	7,409	8,977
四半期純利益	10,763	13,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,763	13,670

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	10,763	13,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,389	510
為替換算調整勘定	△22,546	192
退職給付に係る調整額	255	400
持分法適用会社に対する持分相当額	△135	△9
その他の包括利益合計	△23,815	1,093
四半期包括利益	△13,051	14,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,051	14,763

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,172	22,647
減価償却費	11,719	10,734
のれん償却額	6,490	6,231
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△49	△173
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△999	△323
受取利息及び受取配当金	△462	△319
支払利息	22	25
持分法による投資損益 (△は益)	2,063	2,446
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,865	△543
投資有価証券売却損益 (△は益)	△256	△13
売上債権の増減額 (△は増加)	2,293	2,411
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,072	380
仕入債務の増減額 (△は減少)	747	△333
その他	△480	△3,529
小計	39,470	39,641
利息及び配当金の受取額	462	319
利息の支払額	△14	△20
法人税等の支払額	△13,043	△8,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,875	31,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,019	△8,028
有形固定資産の売却による収入	3,918	1,851
無形固定資産の取得による支出	△8,315	△1,579
投資有価証券の取得による支出	△4,000	△2,000
投資有価証券の売却による収入	776	452
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△2,627	△13,329
その他	△764	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,033	△22,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△185	139
自己株式の取得による支出	△4	△7
配当金の支払額	△6,840	△6,840
その他	△124	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,154	△6,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,962	779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,274	2,760
現金及び現金同等物の期首残高	12,784	13,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,509	15,836

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	131,837	42,219	174,056	—	174,056
セグメント間の内部売上高	455	943	1,399	△1,399	—
計	132,292	43,163	175,455	△1,399	174,056
セグメント利益	11,662	3,482	15,145	188	15,334

注1. セグメント利益の調整額188百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医薬	バイオ ケミカル	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	135,247	40,437	175,685	—	175,685
セグメント間の内部売上高	474	1,298	1,773	△1,773	—
計	135,722	41,736	177,458	△1,773	175,685
セグメント利益	20,728	3,308	24,036	90	24,127

注1. セグメント利益の調整額90百万円は、セグメント間取引消去であります。

注2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。